



「地には平和あれ」

ルカ福音書二一・8〜20

牧師 安藤 脩

この数年「平和」という言葉が語られ、強く考えさせられています。既に、戦後も71年を経ました。戦争を知らない世代の増加ゆえでしょうか、戦争への懸念が増大しています。戦争を体験した老齢の方々が、今の世情を「第二次世界大戦に突入して行った時の雰囲気に変えよく似ている」と発言しているのを、ニュースでしばしば見聞きます。

現政権になり、武器輸出3原則が変えられ、戦闘状態の国への武器輸出が可能になりました。また、新しい武器を外国と共同開発することも出来るようになりました。防衛費も前内閣までは減少していましたが、現政権になってから連続上昇し続けています。更に、平和主義を規定している憲法第九条も変えられようとしています。「日本は決して戦争をしない国である」と世界が認める一因は、憲

2016年冬号

日本キリスト教団
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区

岡村 4-25-39

TEL.045(751)3917

牧師

安藤 脩

法九条です。しかし、「日本は戦争をする国になった」と世界の国々が思うならば、それは戦後の積み重ねを捨てることでもあります。それは大きな損失であると共に、攻撃される危険性が増すことでもあります。多くの戦争は恐怖観念から「やられる前にやれ」と考えて起きてしまうからです。これが今の日本の状況です。

海外に目を移しても、ISの蛮行はもとより、イギリスのEU離脱の国民投票、アメリカの大統領選挙でも、ナシヨナリズムが強くなっていることが分かります。人が神から離れ、人間の知恵で人間社会を築くなら、戦いと汚染は必ずおこる。

神にとつては自明のことだったので、だから、人がパラダイスを追放された初めから、神は救いの手立てを考え、預言者をして救い主の到来を預言させました。その救い主の誕生を最初に知らされたのは羊飼いたちでした。彼らは平和を願う人々でありました。彼らは虐げられ、貧しく、社会の底辺にありました。でも、

自分の境遇を受け入れ、地に足を付けて、戦うことなく穏やかに暮らしている人々でした。その平和の民に「わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」(：10〜11)と天使は告げたのです。救い主のおいでは、全ての民の喜びです。この御告を素直に受け入れた時、天使と天の大軍が「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」(：14)と、救い主のおいでの意味を歌い、神を褒め称えました。

神は天にある真の平和が地の上、人間社会にもあるようにと願っているのです。神は天と地とそこにあるものを全て創造された後、地上の全てを人間に委ねました。地上がパラダイスになるか否かは人間に掛かっているのです。しかし残念ながら人間は、罪・滅びの道を歩むようになりました。だからこそ、人間を本来の、神の霊を持つ姿に戻すために、救い主を送るご計画を立てられたのです。この救い主イエス・キリストを心に受け入れるなら、私たちは人間本来の姿に戻ります。神の御心に添って歩む者によって、地上の真の平和は生み出されるのです。

証し

神様からの恵みと 聖霊の働きに感謝



石川 洋一

毎日の生活すべてが神様からの恵みであり、常に、聖霊が私に働きかけて下さっていることに感謝します。

私は、幼・小・中・高・大がミッションスクールでした。また、教会学校（岡村教会ではジュニアチャーチ）に幼い頃から行っていました。その中で、神様の御言葉の種が、知らず知らずの内に自然に私の心の中に蒔かれていたこと、後になって本当によく解ります。そして、昭和四十八年（1973年）十六才（高一）の時に、捜真バプテスト教会でバプテスマを受け、クリスチャンとしての生活をスタートさせることができました。大学の四年間、また社会人になってからの数年間、教会学校の教師として奉仕させて頂きました。教師として勤務している学校もミッションスクールということで、常に聖書を読み、讃美をして祈ることのできる環境にあります。本当に感謝です。

教師として勤め始めて五年目に、教会学校で共に奉仕をしていた和美と結婚することができました。

子どもの頃から学校・教会と、常に神様の御言葉に触れて日々すごせたこと、結婚して新と良の二人の息子に恵まれたこと、新がクリスチャンになったこと、愛（めぐみ）さんという素晴らしいパートナーに出会い、そのうえ愛さんがバプテスマを受けて、クリスチャンホームとしてスタートできたこと、などなど、神様からの恵みを挙げたらきりがありません。本当に感謝の気持ちで一杯です。

聖霊に満たされていたことを、後で特に強く感じたことが、何回かあります。その一つが、バプテスマを受けた時のことです。

牧師先生に「そろそろバプテスマを受けることを考えてみませんか」と声を掛けて頂き、素直に「はい」と返事をして、受けさせて頂きました。今考えてみますと、ふだん何も考えずに呼吸をしているような自然な感覚で、イエス・キリストを救い主と信じ、抵抗もなくバプテスマを受けることができました。そこに聖霊

の大きな導きがあり、聖霊に満たされていたことを後で強く感じました。

その他には、母が天に召された時の事です。母は癌で、近い将来その母の死に直面しなければならぬことは覚悟していました。しかし、そのことが現実性を帯びてくるに従い不安になり、自分自身取り乱してしまうのではないかと、思っていました。でも、それは違っていました。母の死は、勿論とても悲しい出来事であるのは当然ですが、実際のその時、聖霊に満たされ、心が癒され、平安の内にいるような不思議な感覚であったこと、今でも覚えています。母がクリスチャンであったこともあると思いますが、母が天の国に一足先に行っているのだということ素直に受け止めることができました。

これからも神様の恵みと聖霊が、いつも私に働いて下さっていることに感謝して歩んでいきたいと思っています。（特別伝道礼拝でのあかし）



特別伝道集会・信徒研修会報告

伝道部・坂本 浩

秋の特別伝道集会は、例年土曜日午後の集会、日曜礼拝、午後の集会と3回行って来ましたが、今年は10月23日(日)の聖日礼拝のみ行うことになりました。



赤坂教会牧師・姫井 雅夫先生を講師としてお招きし、「神からの恵み」と題してメッセージをして頂きました。

まだ救われていない家族や親戚、友人、求道者を積極的にお誘いし、新しい方の来会を期待して約千枚の案内チラシを近隣に配布しました。姫井先生のメッセージはユーモアを交えながら、ストレートに福音を語られました。残念なことに新しい方は来られませんでした。最近礼拝に続けて来られている求道者の方が数名参加され、主を受け入れる決心を表明された方がいました。心より主に感謝します。

午後は、「神はあなたを必要としている」というテーマで信徒研修会を行いました。先生は総動員伝道や様々な団体で

福音伝道に力を注がれているお方です。少しでもエキスを頂こうということで企画しました。二倍得した感じでした。

「全ての人に福音を伝えることは、全てのクリスチャンの使命である」ことを確認し、信仰によって常に祈り、自身の生活を通してキリストを証し、それぞれの賜物(タラント)を発揮して共に成長して行く事が大切である、という内容でした。質疑応答を含めた短時間の講義でしたので、まだまだ沢山聞きたいこともありまし

たが、次の機会に取っておくことにして、今回の伝道礼拝・研修会の感想を参加者に書いてもらいました。一部ですがご紹介させていただきます。



自分自身の揺れ動く信仰を見つめ直す時が与えられました。主人との日々の生活の中で、主への祈りを深め、福音を伝えたく思います。

姫井先生のユーモアたっぷりの自己紹介からメッセージがはじまり、信仰生活を送っている者でも、初心に帰って何うことができました。

メッセージ中、あなたは誰の為に生きているかと問い掛けられました。日頃家族や仕事の為に生きておられると思っていま。しかし、究極的には主の為に生きて行かなければ、平安が来ないことを改めて感じる事ができました。感謝。

伝道することは難しいと思っています。教会に来られた方、日常生活でのご近所の方へ、まず挨拶をすることを心がけているつもりです。語らなければ伝わりませんが、その先は神様に委ねる以外ありません。

先に救われた者として、神様の恵みを伝える義務がありますが、ただ御言葉の種を蒔くのが、自分の出来る事と思わされました。

私たちは、あらゆる機会を捉えて伝道のお手伝いをすべきだし、実際できるとの思いを強くしました。お友達とランチをする時や、親戚の集まりに出た時でも、何気なく御言葉を語る人でありたいと思いました。

祈りの器として強められ、イエス・キリストを証し、宣べ伝える者として成長したいと思いました。

私達ジュニアチャーチは ヘーゼルちゃんの里親です



ヘーゼル・アン・
ベトレちゃん
4年生
フィリピン

私達横浜岡村教会のジュニアチャーチは、チャイルド・フアンド・ジャパンを通して、この20年間フィリッピンの子どもの里親をしてきました。

今は、昨年より3年生だった女の子ヘーゼルちゃんの里親として学費援助をしております。

このスポンサーシッププログラムは、貧しさの中で暮らす子ども達が、健やかに成長するように支援するプログラムです。

フィリッピンの基礎教育制度は6年生まで義務教育で、学費は無償です。でも学用品や制服、交通費や昼食は自己負担で、これらを準備できない子らは学校に行けなくなります。子供たちがしっか

り義務教育を受けられるように、このような里親制度があります。

私達が支えているヘーゼル・アン・ベトレちゃんのお父さんは農夫ですが、いつも仕事があるわけではなく、得られる収入はわずかです。

ヘーゼルちゃんは、家では水くみや皿洗い、農場での仕事の手伝いをしています。

ヘーゼルちゃんの為の ミニバザーを開きました



ヘーゼルちゃんについては、担当センタールより報告が来ます。子供の成績の報告もあります。その報告によると、ヘーゼルちゃんはとても礼儀正しく、物事をよく考える子だそうです。クラス討論などにも積極的に参加するそうです。

そして時々、里親のJCへヘーゼルちゃんから便りがきます。それに答えて私達ジュニアチャーチからも、寄せ書きでクリスマスカードを送ったりしています。

ヘーゼルちゃんは大きくなったら、学校の先生になって、小さい子供たちに勉強を教えたいそうです。

この様な報告を聞くと、一人の子どもがしっかりと成長していく事の助けが出来てよかったですと思わされます。まだまだ支援を受けたい子どもが順番を待っているそうです。

今回は、里子に逢いに行きましょう！とのフィリッピン訪問の旅の案内が来ました。なかなか参加は難しいですが、個人でも里親になって、子どもを支える働きをして下さる方が与えられると嬉しいです。

この度は、私たちの結婚式にご出席頂き、又、安藤牧師やマリア会の皆さんには、挙式にあたり様々な準備をして頂き、ありがとうございます。披露宴の時間の都合から、挙式を8時半から開始するという強硬な日程を組んでしまいました。でも当日は予想を上回る70名近くの方



おめでとうございます

結婚式を終えての感謝

平野 耕太郎

私達結婚しました

平野耕太郎・智美

2016年
10月29日(土)
於・横浜岡村教会



披露宴にて



智美さんが刺繍で作った
ウェルカムボード

がご出席くださいました。先輩の方々に続いて、愛と平和に満ちた素敵な家庭を築きます。どうかお祈りください。新婦は現代に珍しく、家庭的で母性と優しさに満ちた素敵な女性です。今日は「一億総活躍社会」という言葉のもと、女性が社会に出て仕事をするのがまるで当たり前のようになってきました。しかし、新婦のお母さんがそうであったように、新婦もまた家庭にあつては料理やおかし、ケーキづくりが得意で、刺繍などの手芸にも長けています。私たちの家庭でよい働きをしてくれる事でしょう。それとこの世の中で自分はどうか生きようか悩んでいる多くの女性に、世の中に惑わされない、女性らしく、また自分らしい生き方を示す事の出来る、素晴らしい女性になると期待しています。

私たちの結婚式に際しまして、多くの皆さまにお祈りやご奉仕、そして祝福のお言葉を頂きありがとうございます。残念ながら沖繩に住む姉は体調が悪く出席することができませんでした(どうかお祈り下さい)。でも体の悪い両親や祖母、特に母は結婚式が決まってから病が見つかり心配していました。でも体調が守られ、無事に花嫁姿を見せることが出来、本当によかったと思います。そして、多くの親戚や教会員の皆さまの祝福の中で挙式を行えた事に感謝しています。私が大学時代に平野兄と知り合ったのは、教会へ行きたいと思っていた時でした。大学ではクリスチャンの友人も何人かいて、その友人の通う教会へ行った事もありましたが、通うには至りませんでした。しかし、平野兄と共に岡村教会へ通い始めてから、洗礼を受け、婚約式を行い、この度結婚式を挙げる事ができたのは、教会員の皆様の励ましや祈りによる支え、そして神様からの導きを強く感じます。これからも、教会で、家庭で、職場で、キリストの身体の一部としての働きが出来ますようにお祈り下さい。

智美

こども祝福式



11月13日(日)子ども祝福式が教会で行われました。19名の子ども達と親御さん方が参加され、安藤牧師より一人一人祈って頂きました。

こども祝福式に参加して

野波 聖子



先日、祝福式に初めて参加させて頂きました。子供が(神様のもとから)うちへ来てくれた事を、そして、周囲の方々の温かい目に見守られて

いる事を実感し、感謝するひと時となりました。普段、子どもに「うちの子に生まれてくれてありがとう」と言っているんですが、一方では些細な事で怒ってばかりです。これを機会に改めて子どもを授

かった事への感謝の気持ちを持って過ぎていきたいと思いました。

娘は小学生になり、ジュニアチャーチ、その行き帰りの道やバスの中など一人で行動する場面が増え、不安に思う事もあるかと思えます。でも、教会に着けば教会の方々、学校では先生方、一歩外に出れば、お友達のお父さんやお母さん、近所の方々、バスの運転手さんや乗客の方々、そんな周囲の大人の人の優しい気持ちに触れ、今、もう少しの勇気を出せているのだと改めて感じました。



2017年カレンダー

「華のしらべ」 安藤華舟(絵書)

今年もカレンダーが、いのちのことは社より発売されました。1部消費税なしの800円です。注文受け付けています。お早めどうぞ。



すいふよう

昨年の7月、足柄まで酔芙蓉の花を見に出かけました。花は朝は白く、昼はピンクに、夕方には赤く変わります。



ひいらぎ南天

実家の玄関に咲いていたひいらぎ南天。冬の花のない時期に咲く貴重な花。



ひまわり

上大岡に行く途中にひまわり畑がありました。背の高い大きなものの下に小さなひまわりが咲いていました。

召天者記念礼拝を覚えて

今 給 黎 美 代 子

2016年11月6日、召天者記念礼拝に於いて、天のふるさとに召された方々に思いを馳せて、ご遺族と共に礼拝を守りました。礼拝では、故人録を読み上げ、遺影を見つつ故人を偲びました。その後の愛餐会では、ご遺族の方々がそれぞれ思い出を語ってくださいました。そして、御国での再会を希望するだけでなく、信じる大変良い交わりが出来ました。

横浜岡村教会の納骨堂は、上大岡墓地にあります。納骨堂からはパノラマのような景色が見渡せます。更に、美しく塗装されたばかりの納骨堂で、墓前礼拝が捧げられ、関口猛兄の納骨式が挙行されました。

私達にも、信仰によって天の故郷、永遠の住みかが備えられています。

「私達は見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」

(第2コリント5章18節)

納骨への思い

関 口 勢 津 子

暑い夏が過ぎ秋となり、もうすぐ思いもしなかった夫の召天という悲しみの時から一年を迎えようとしています。私の防波堤でいてくれた夫を突然失ってしまった、ただただ何も考えられず茫然とする日々でしたが、大きな喪失感から救ってくれたのは、神様の御言葉と信仰でした。

更に教会役員としての奉仕という新しい道を与えられ歩んでおりますが、心の中はまだ夢の中にもいるような、地に足のつかない感じの日々を過ごしています。そんな中、夫のことをあれこれ考え歩いていた時、ふと、もう納骨しようという思いが突然起りました。いつまでも傍に置いておきたいという思いの中にもありました。やはりあるべき場所に置くことが良いと思わされたのです。これで義母も夫も全て神様にお返しすることになりました。本当に真から寂しくなりましたが、二人が主の御もとで祝福を受けていることを信じ、私も天国での再会を楽しみに歩んで参ります。



美しく塗装されたばかりの納骨堂



関口猛兄の納骨式のあとで



偲ぶ会

多くのご遺族と共に
懐かしい語らいの時
となりました



JCの窓 (ジュニアチャーチ)

子ども祝福式に 参加して

富井 恒吉

11月中旬とは思え

ない暖かい日よりの中、
家族で祝福式を兼ねた

教会の出席となりました。二歳の娘は初
めての岡村教会の祝福式参加という事で、
とても緊張して、ずっと私か妻が抱
っこしていました。娘は、先生からの温
かい祝福の言葉と名前入りのプレゼント
を大変喜んでいました。今年は19人も
子供達が祝福式に参加したそうで、賑や
かに行われたのが印象的でした。

昨年度より、横浜岡村教会の礼拝に参

富井 麻美

加させて頂いています。祝福式では、子
どもたち一人ひとりの名前が呼ばれ、祝
福されました。温かい雰囲気、心を打た
れました。祝福式での安藤先生のお話に
あつたように、神様から授かった小さな
命を、夫婦で大事に育んでいこうと改め
て思いました。

私たちが家族を温
かく迎えてくだ
さった教会員の
皆様に感謝して
います。



12~2月 行事予定

12月

- 4日 アドベント第2礼拝(讚美・安藤家)
- 10日 ギデオン協会クリスマス
- 11日 アドベント第3礼拝(讚美・石川家)
- 18日 アドベント第4礼拝(讚美・平野家)
- 18日 クリスマス祝会
- 21日 三教会統一祈祷課題祈祷会
- 24日 ヤング・クリスマス
クリスマスイヴ・燭火礼拝
- 25日 クリスマス礼拝
(洗礼式・ハレルヤ合唱)
- 27日 横浜ろばの店クリスマス

1月

- 1日 第1主日(元旦)礼拝
- 8日 定例役員会
- 16日~17日 マケドニア会(熱海)

2月

- 4日 三教会婦人交流会(当教会)
- 12日 オープン礼拝
- 14日 三教会交流委員会(当教会)
- 19日 三教会交流講壇交換(中島師)
- 19日 三教会子ども交流会(当教会)
- 21日~23日 ケズイック・コンベンション

(毎月第1主日 聖餐式、役員会)
(毎月第4主日 各会の定例会)

集案案内

◎12月18日(日)正午~2:00

*クリスマス愛餐会

◎12月24日(土)PM4:00~

*ヤングクリスマス

交換プレゼントがあります。

◎12月24日(土)PM7:00~

*クリスマス・イブ礼拝

子ども達のページェントがあります

ご家族でおいで下さい。

◎12月25日(日)AM10:30~

*クリスマス礼拝

編集後記

秋も深まり、やっと気候が定まって何
故か寒いのにホットしてます。

冬号は図らずも未来への希望、慶ばし
い祝福の時、そして悲しい思い出等々、
人生を歩む中与えられる全てが詰まった
号になりました。じっくりお読み下さい。

もうすぐクリスマスです。

大きな希望の星を目指して力
強く歩みたい。(S・S)

